

2026年10月期 第1四半期決算説明資料

株式会社AB & Company

(証券コード：9251)

会社概要

代表取締役



市瀬 一浩

2003年に山野美容専門学校を卒業後、青山の美容室にてスタイリストとして勤務を開始。低賃金・長時間労働が常態化する美容室業界に疑問を抱き、業界変革を目指して2009年に独立、創業。

企業理念

「スタイリストファースト」を信念にお客さまに幸せと喜びを提供します

美容室業界の課題であるスタイリストの長時間労働、低賃金、高離職率を是正し新たなキャリアデザインを創造することでスタイリスト自身の喜びに繋げることがより良いサービスの提供、延いてはその先のお客様の幸せに繋がると考えます。

事業概要

HAIR SALON
Agu.

直営美容室運営
事業



直営店舗の
運営

フランチャイズ
事業



FC店舗の
運営サポート

インテリアデザイン
事業



美容室を中心とした
店舗デザイン、設計、施工

2026年10月期 1Q 連結PLサマリ（前年同期比）

- ・前期実行した美容室法人M&A（3社）の寄与により売上収益・営業利益ともに増収増益。
- ・加えて、店舗固定資産の耐用年数の見直しによる減価償却費の減少（▲48百万円）のほか、インフレに伴うコスト増が一服。

	2025/10期 1Q単四半期	2026/10期 1Q単四半期	前年同期比
売上収益	4,535百万円	5,227百万円	+ 15.3 %
営業利益	364百万円	506百万円	+ 39.0 %
調整後 EBITDA	517百万円	616百万円	+ 19.1 %

*調整後EBITDAはEBITDAから「使用権資産の減価償却費」を差し引いて算出（使用権資産の減価償却費は実質的な家賃に相当するため）

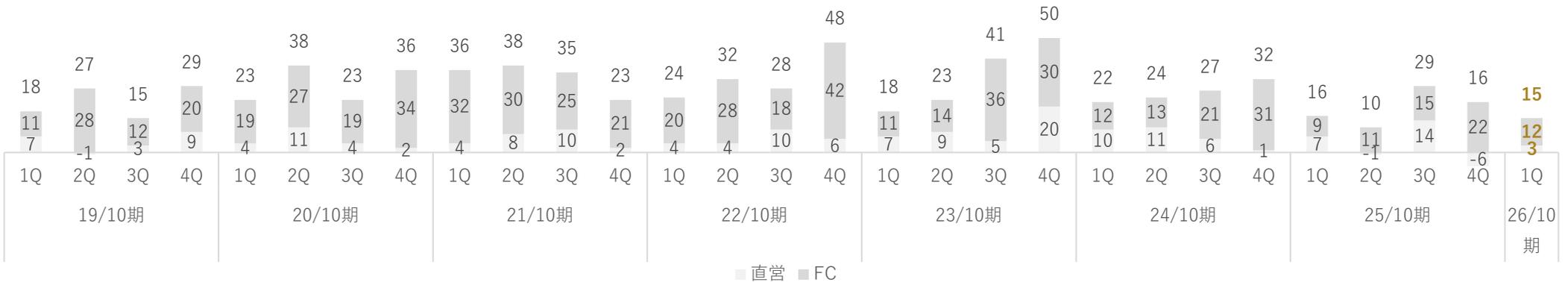
国内店舗数 推移

直営・FC合わせて15店舗の店舗純増と、前年同期と同水準で推移

店舗数



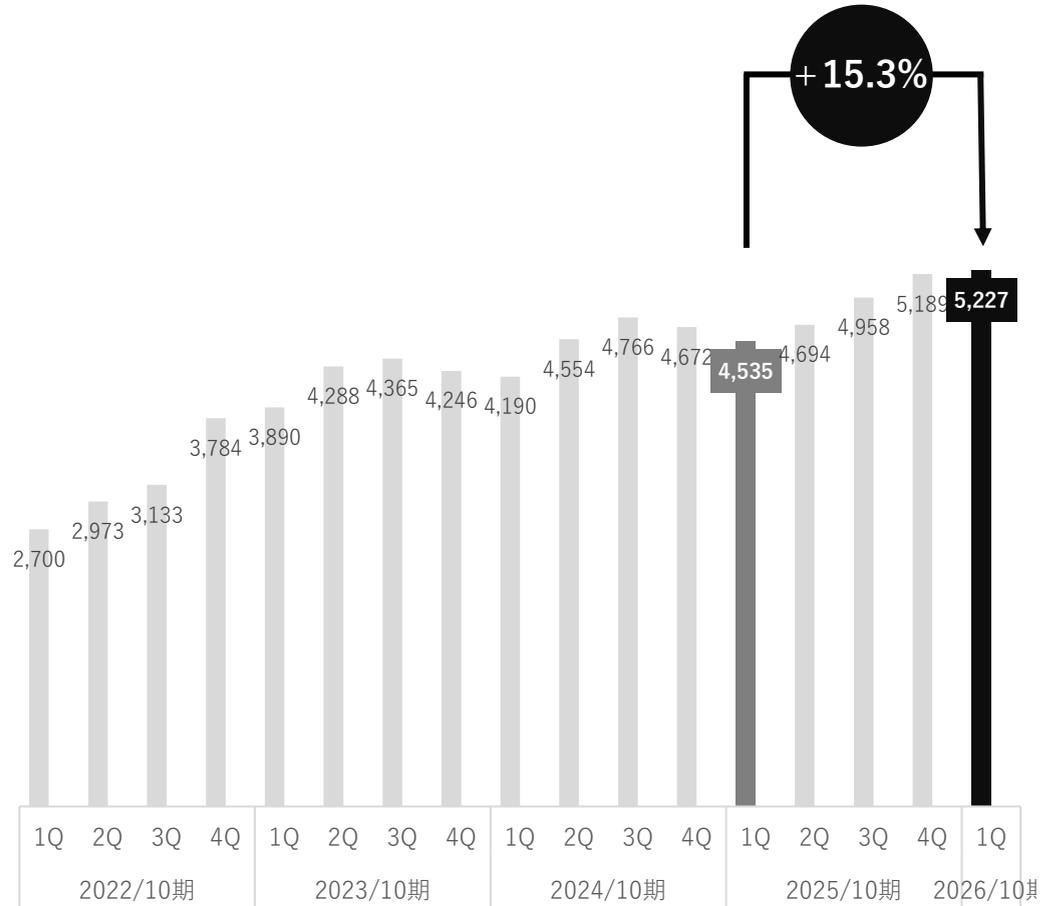
店舗純増数



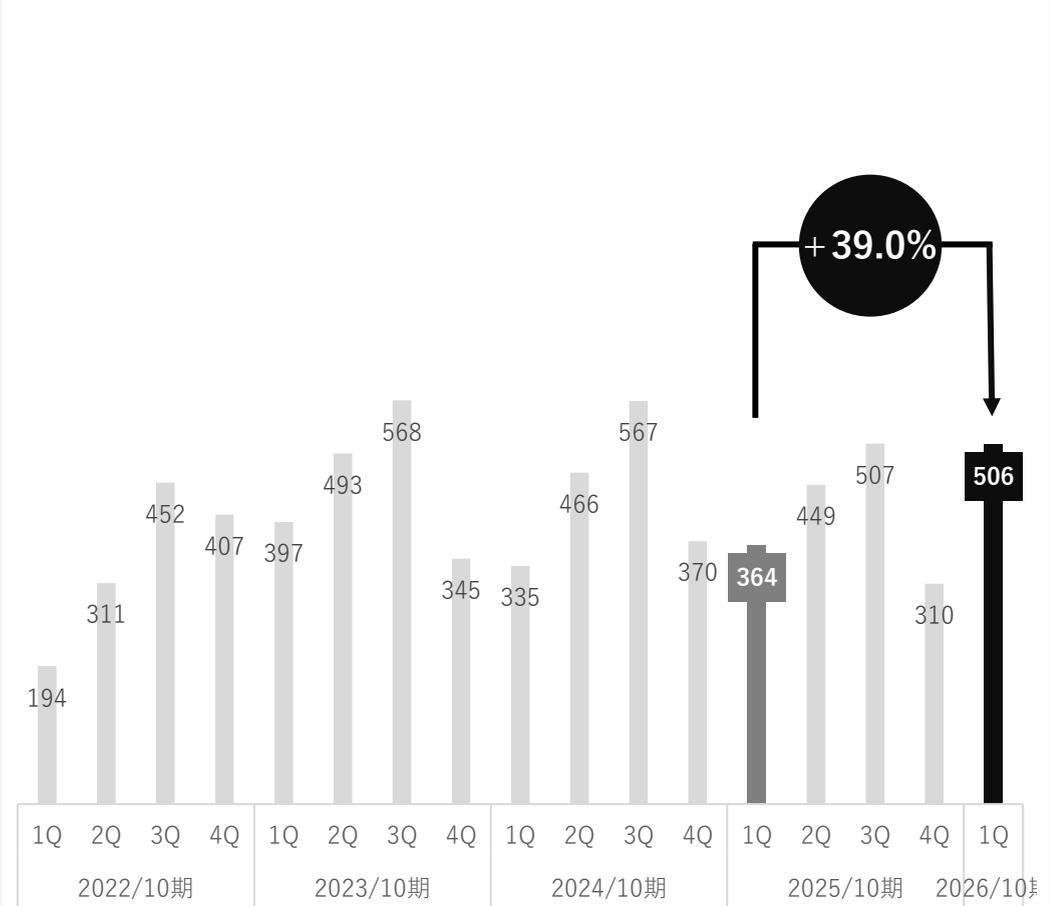
※Aguグループ外のM&A店舗を除いた店舗数

四半期実績推移

売上収益



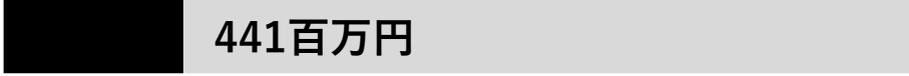
営業利益



2026年10月期 通期計画対比進捗率

売上収益・営業利益は20%超の進捗率であり、概ね前年の進捗率と同等

2026年10月期
通期計画

売上収益	 5,227百万円	22.8% (23.4%)	22,897百万円
営業利益	 506百万円	21.1% (22.3%)	2,400百万円
税引前当期利益	 441百万円	19.8% (21.7%)	2,230百万円
当期利益	 287百万円	19.5% (23.8%)	1,471百万円

※括弧内の数値は、前年1Qの通期実績に対する進捗率

店舗売上KPI 実績推移 (1Qベース)

- 顧客単価の前年同期比伸長が顕著 (直営:+3.7%、FC:+3.8%)
- メニュー (施術内容、単価) の見直しを部分的に実施することで平均顧客単価が上昇

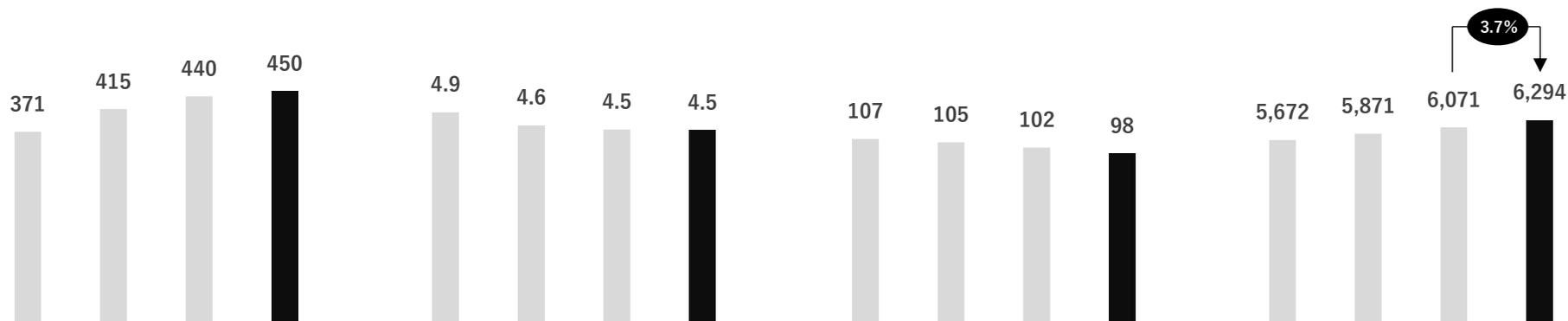
国内店舗数

国内店舗あたり
スタイリスト数

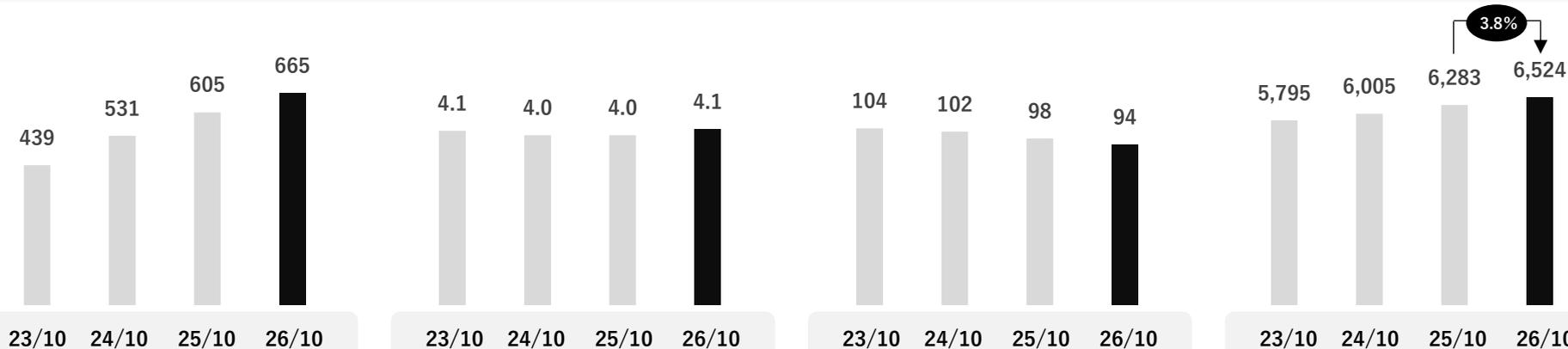
スタイリストあたり
顧客数

顧客単価

直営



FC

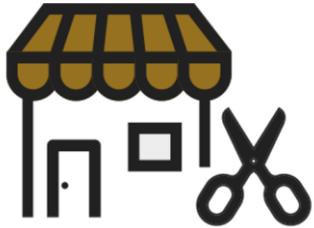


※それぞれAguグループ外のM&A店舗を除いた指標

事業セグメント

美容室運営 THE SALON Agu. 等

直営美容室運営 事業



直営店舗の運営

美容室運営法人
3社M&A実行

フランチャイズ 事業



FC店舗の
運営サポート

店舗内装のデザイン・工事

インテリアデザイン 事業



美容室を中心とした
店舗デザイン、設計、施工

セグメント概況（前年同期比）

直営美容室運営事業：前期実行したM&A（3社）および店舗固定資産の耐用年数変更による減価償却費減少（▲48百万円）から増益

フランチャイズ事業：安定的に増収増益トレンドが継続

インテリアデザイン事業：他業種向け工事の受注が進まず、減収減益

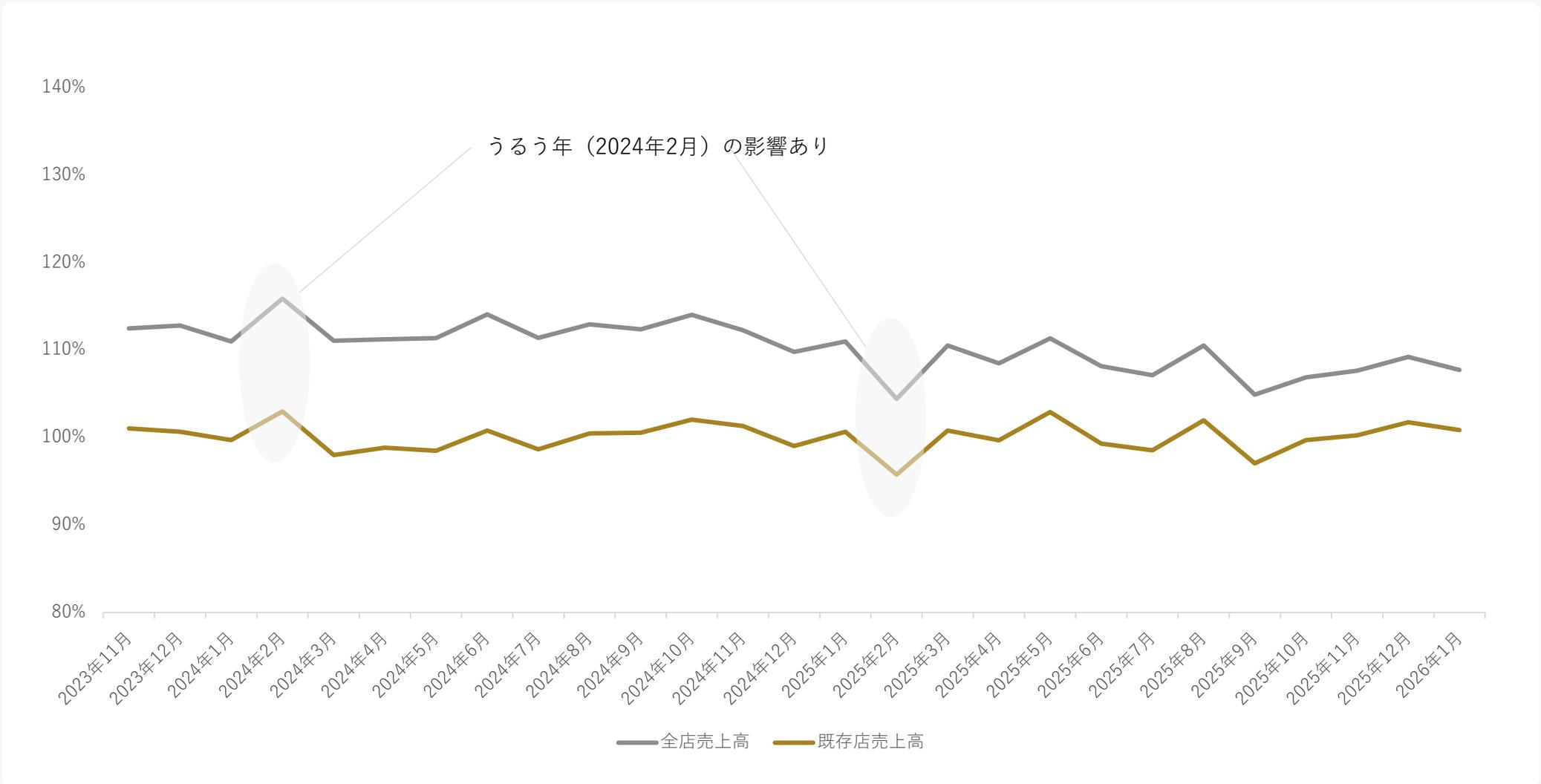
（金額単位：百万円）

	直営美容室運営事業			フランチャイズ事業			インテリアデザイン事業		
	1Q			1Q			1Q		
	2025/10期	2026/10期	増減	2025/10期	2026/10期	増減	2025/10期	2026/10期	増減
売上収益	3,695	4,457	20.6%	699	778	11.3%	519	355	▲31.6%
外部売上	3,695	4,457	20.6%	429	494	15.2%	410	275	▲33.0%
売上原価	2,204	2,648	20.1%	51	67	30.7%	408	273	▲33.0%
売上総利益	1,490	1,809	21.4%	648	711	9.7%	110	81	▲26.5%
売上総利益率	40.3%	40.6%	0.2	92.6%	91.3%	▲1.3	21.3%	22.9%	1.6
販管費	1,557	1,763	13.3%	388	401	3.2%	103	120	16.9%
その他収益	36	31	▲11.7%	6	18	193.4%	3	0	▲86.4%
その他費用	3	8	173.6%	0	0	-	0	0	-
セグメント利益	▲33	68	-	266	328	23.5%	10	▲39	▲488.1%
セグメント利益率	▲0.9%	1.5%	2.4	38.0%	42.2%	4.2	2.0%	▲11.1%	▲13.0
【参考】経営指導料調整後利益	94	206	118.0%	386	461	19.6%	-	-	-

全店・既存店 店舗売上高（前年同月対比）

全店売上高：100%台後半で推移

既存店売上高：100%前後で推移



BS概況 (IFRS)

(金額単位：百万円)

	2025/10 期末	2026/10 1Q	増減
現金及び現金同等物	2,263	2,787	523
営業債権及びその他の債権	1,280	1,323	42
棚卸資産	344	452	108
その他の流動資産	482	520	37
流動資産合計	4,370	5,084	713
有形固定資産	1,607	1,608	0
● 使用権資産	5,392	6,948	1,556
のれん	9,713	9,713	0
無形資産	4,374	4,362	▲ 12
その他の金融資産	736	728	▲ 7
繰延税金資産	823	822	▲ 1
その他の非流動資産	58	52	▲ 5
非流動資産合計	22,706	24,235	1,529
資産合計	27,077	29,319	2,242

店舗固定資産の耐用年数見積変更（7年→9年）により、使用権資産およびリース負債についても平仄を合わせる形で年数延長分を計上

	2025/10 期末	2026/10 1Q	増減
営業債務及びその他の債務	1,169	1,392	222
契約負債	54	54	0
借入金	2,138	2,421	283
リース負債	1,837	1,844	6
未払法人所得税等	313	114	▲ 199
その他の流動負債	774	799	24
流動負債合計	6,288	6,627	338
借入金	5,839	6,775	936
● リース負債	3,662	5,191	1,528
引当金	1,026	1,031	5
繰延税金負債	1,263	1,263	0
非流動負債合計	11,791	14,261	2,470
負債合計	18,080	20,888	2,808
資本金	211	211	0
資本剰余金	5,018	5,018	0
利益剰余金	4,749	4,181	▲ 567
自己株式	▲ 995	▲ 995	0
その他の資本の構成要素	14	15	0
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,997	8,430	▲ 566
資本合計	8,997	8,430	▲ 566
負債及び資本合計	27,077	29,319	2,242

1Q四半期利益：+287百万円
剰余金の配当：▲854百万円

※当社グループはIFRSを採用していることから、将来に渡って支払う予定の家賃を物件の使用権利とみなし、「使用権資産」（資産側）、「リース負債」（負債側）としてBSに計上されている

キャッシュフロー計算書

(金額単位：百万円)

	2025年10月期 1Q	2026年10月期 1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期利益	322	441
減価償却費及び償却費	575	570
運転資本の増減	▲ 119	85
契約負債の増減	▲ 31	0
法人所得税の支払額	▲ 258	▲ 333
その他	▲ 128	▲ 27
	360	735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	▲ 77	▲ 109
無形資産の取得による支出	▲ 1	0
差入保証金の差入による支出	▲ 11	0
その他	21	27
	▲ 68	▲ 83
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の純増減額	315	1,223
リース負債の返済による支出	▲ 430	▲ 482
支払配当金	▲ 397	▲ 854
株式の発行による収入	0	0
自己株式の取得による支出	0	0
その他	0	▲ 12
	▲ 512	▲ 127

IFRS会計基準適用による留意点

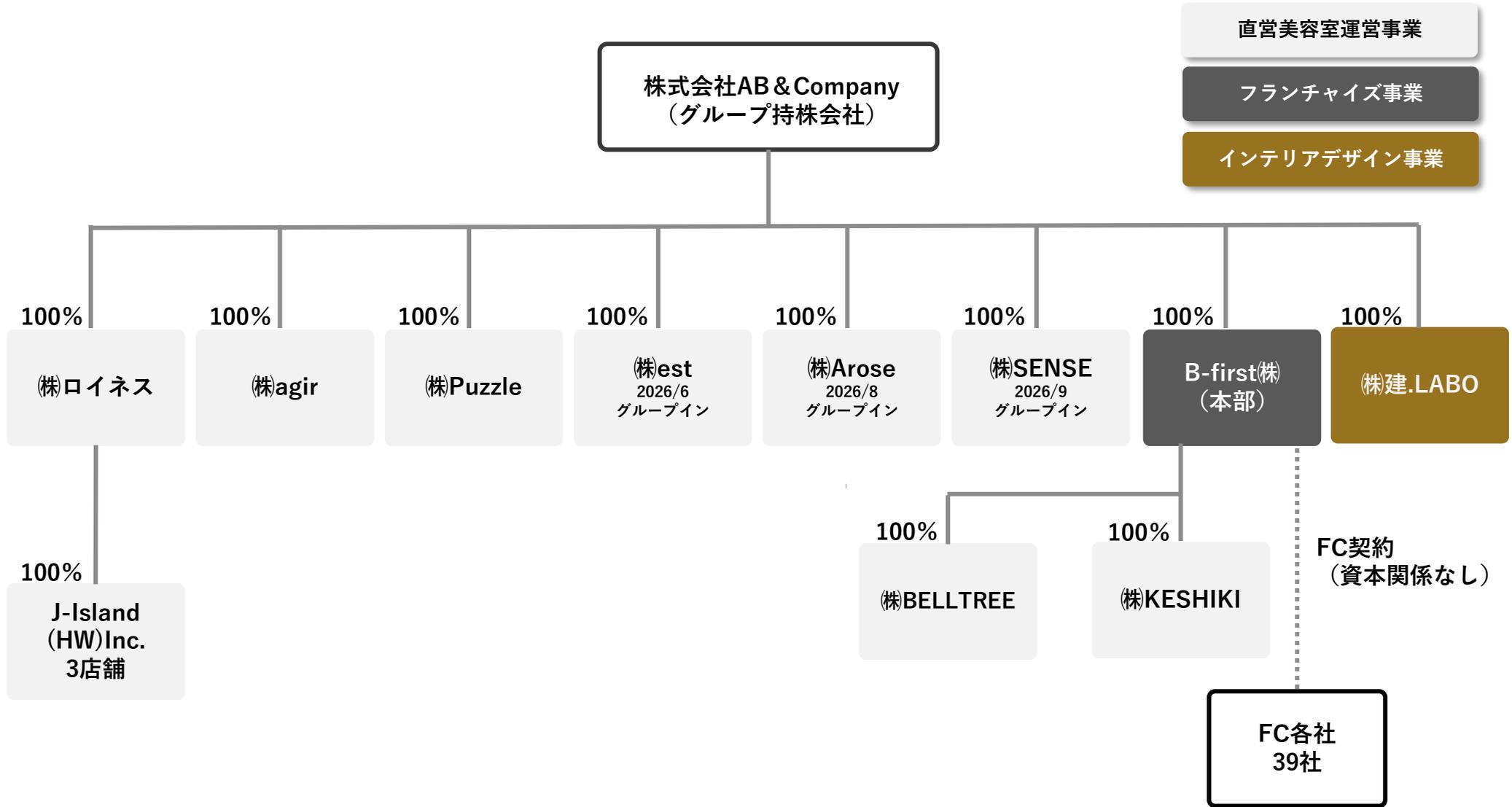
IFRS基準では実質的な家賃（使用権資産の償却）が減価償却費に含まれている（2026年10月期1Qの実質家賃：464百万円）

実質的な家賃支払いに伴うキャッシュアウトは「リース負債の返済による支出」として計上されている

配当方針変更による配当金の増加

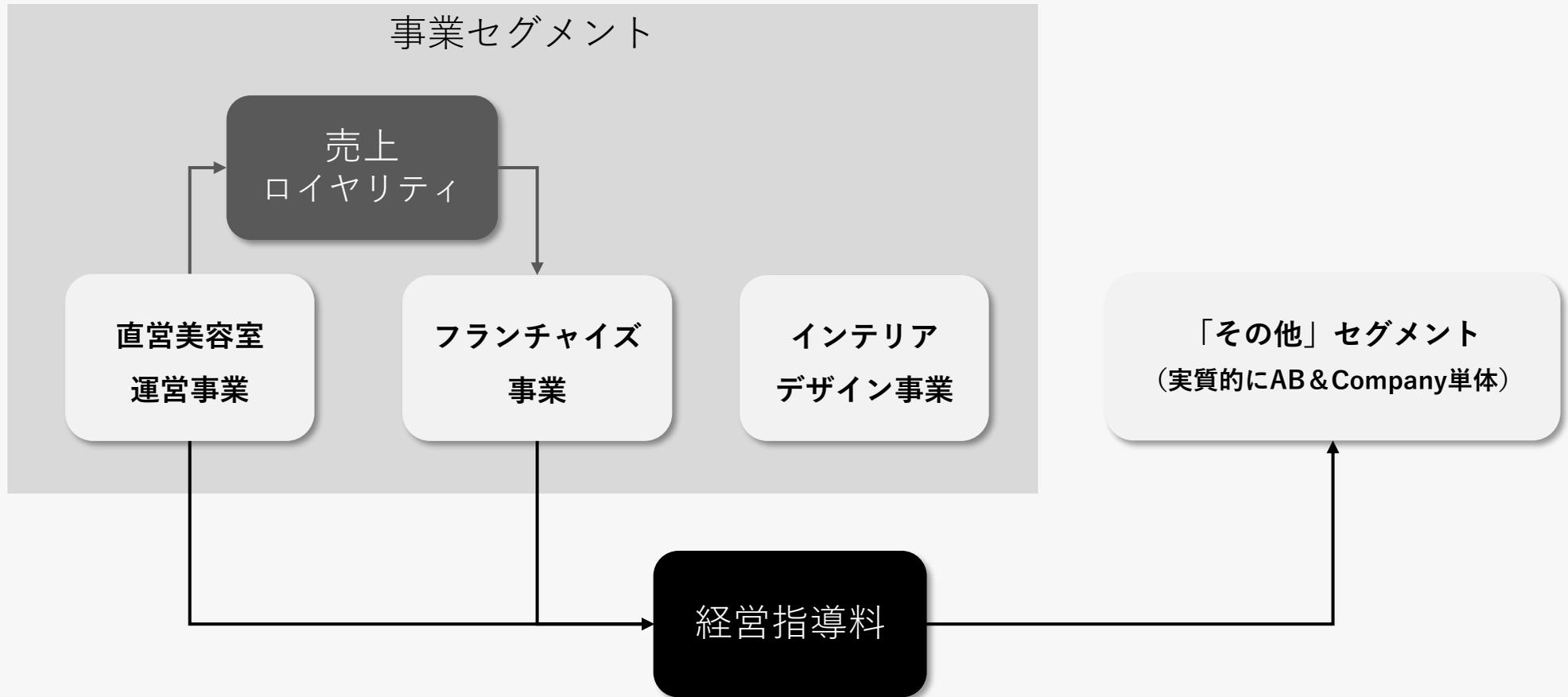
APPENDIX

AB & Companyグループ構成図 (2026/1末時点)



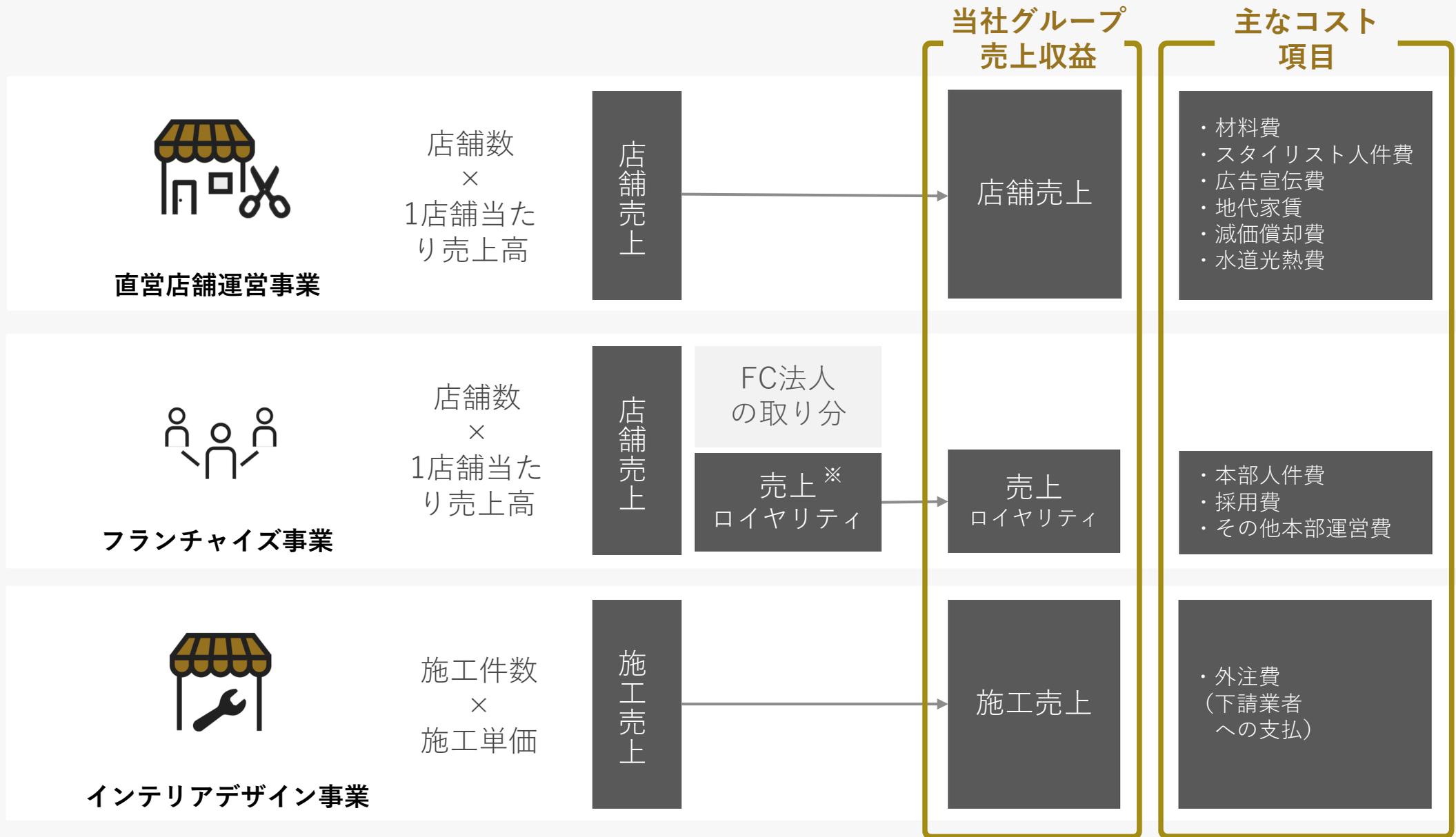
【参考】セグメント構造（売上ロイヤリティ・経営指導料）

直営美容室運営事業からフランチャイズ事業に売上ロイヤリティを、また、それらの2事業から「その他」セグメントに経営指導料^{*1}を支払っている



*1 連結グループ内取引であるため、連結ベースでの財務数値には影響を与えない

セグメント毎の収益モデル



※フランチャイズ事業の売上収益は売上ロイヤリティに加え、「その他収入」（仕入代
行・記帳代行・POSリース・スタイリスト採用代行等。概ね店舗数と連動）で構成される